

名立区 地域協議会だより

【第41号】2022年2月25日発行

発行：名立区地域協議会
 編集：協議会だより編集委員
 事務局：名立区総合事務所
 総務・地域振興グループ
 電話：025-537-2121

自主的審議事項「ろばた館の存続にむけて」

会長 原田 秀樹

新しい年を迎え皆様いかがお過ごしでしょうか。コロナ禍の中で新しい生活様式も定着し、何かと窮屈な中にも、新しい年の息吹を感じておいでなのではと思っています。さて令和4年、新市長の下、どのような市政が計画、実施されていくのか、興味を持って臨んでいきたいと思っていますが、当協議会ではいよいよ「ろばた館」について意見集約を行う環境が整いました。皆様からいただいた感想やご意見、お示しいただいたアンケートの結果、これらを尊重し、慎重に議論を重ねて年度内に意見をお示しできるように協議を進めていきますので、今後とも当協議会にご理解とご協力をいただき、皆様と共に健やかに暮らしていくべく決意を新たにしています。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

ろばた館に関するアンケートの集計結果

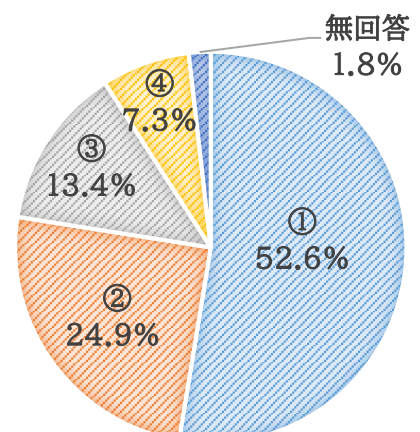
令和3年7月28日から8月18日にかけて実施しました「ろばた館に関するアンケート」について、集計結果を報告します。

- 送付数：800通（18歳以上の区内住民から区内の年齢構成に応じて無作為抽出）
- 回答数：397件
- 回答率：49.6%

※複数回答の設問もあるため、回答数の合計は異なります。

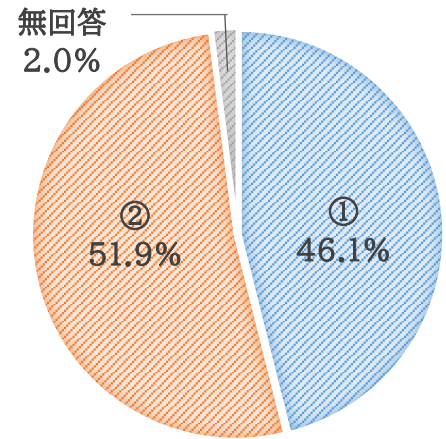
○お住まいの地区は

項目	発送数	回答数（比率）	地区別回答率
① 北部地区	484	209（52.6%）	43.2%
② 下名立地区	168	99（24.9%）	58.9%
③ 上名立地区	81	53（13.4%）	65.4%
④ 不動地区	67	29（7.3%）	43.3%
無回答	—	7（1.8%）	—



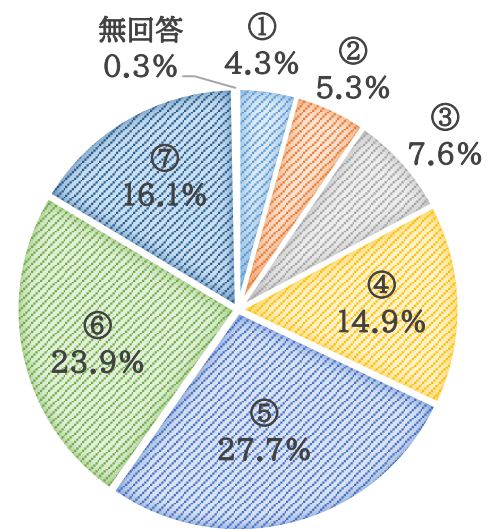
○性別は

項目	回答数 (比率)
① 男性	183 (46.1%)
② 女性	206 (51.9%)
無回答	8 (2.0%)



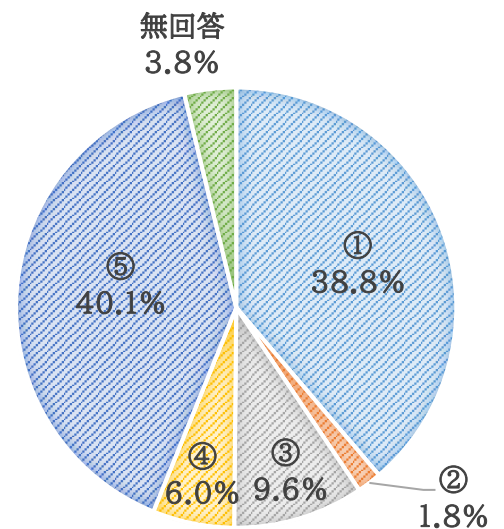
○年齢は

項目	回答数 (比率)
① 18歳～29歳	17 (4.3%)
② 30歳代	21 (5.3%)
③ 40歳代	30 (7.6%)
④ 50歳代	59 (14.9%)
⑤ 60歳代	110 (27.7%)
⑥ 70歳代	95 (23.9%)
⑦ 80歳代	64 (16.1%)
無回答	1 (0.3%)



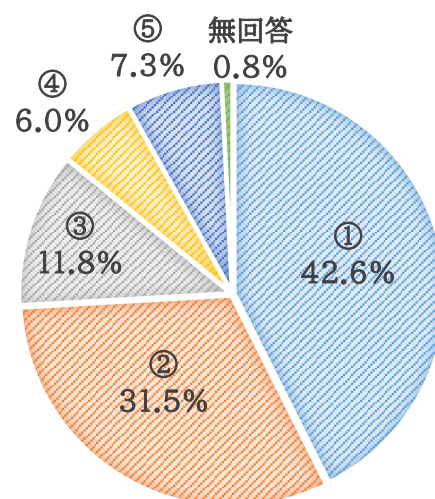
○ご職業は

項目	回答数 (比率)
① 無職	154 (38.8%)
② 学生	7 (1.8%)
③ 漁業・農業	38 (9.6%)
④ 自営業	24 (6.0%)
⑤ 会社員・公務員	159 (40.1%)
無回答	15 (3.8%)



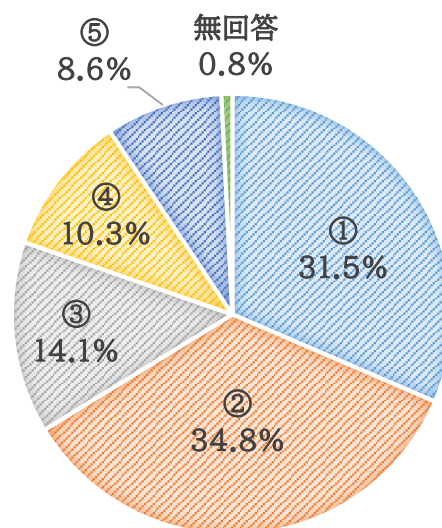
問1 何回程度ろばた館を利用しますか（食事のみを含む）

項目	回答数（比率）
① 全く利用しない	169（42.6%）
② 年2～3回程度	125（31.5%）
③ 年5～6回程度	47（11.8%）
④ 月1回程度	24（6.0%）
⑤ それ以上	29（7.3%）
無回答	3（0.8%）



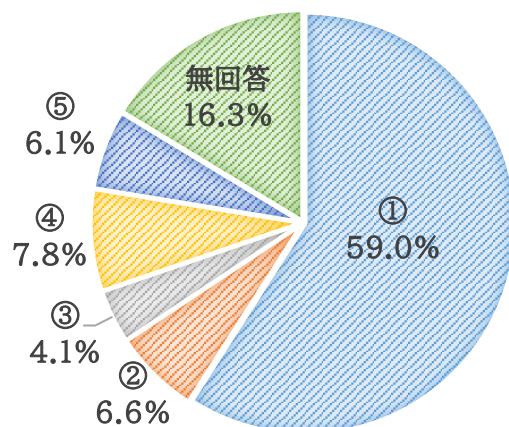
問2 何回程度うみてらす名立のゆららを利用しますか（食事のみを含む）

項目	回答数（比率）
① 全く利用しない	125（31.5%）
② 年2～3回程度	138（34.8%）
③ 年5～6回程度	56（14.1%）
④ 月1回程度	41（10.3%）
⑤ それ以上	34（8.6%）
無回答	3（0.8%）



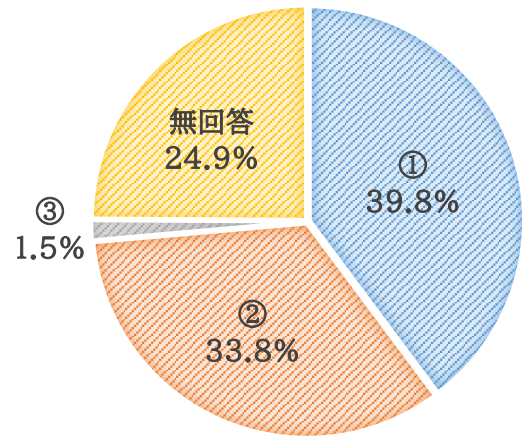
問3 ろばた館を利用する場合どの時期が多いですか

項目	回答数（比率）
① 特に時期関係ない	242（59.0%）
② 春	27（6.6%）
③ 夏	17（4.1%）
④ 秋	32（7.8%）
⑤ 冬	25（6.1%）
無回答	67（16.3%）



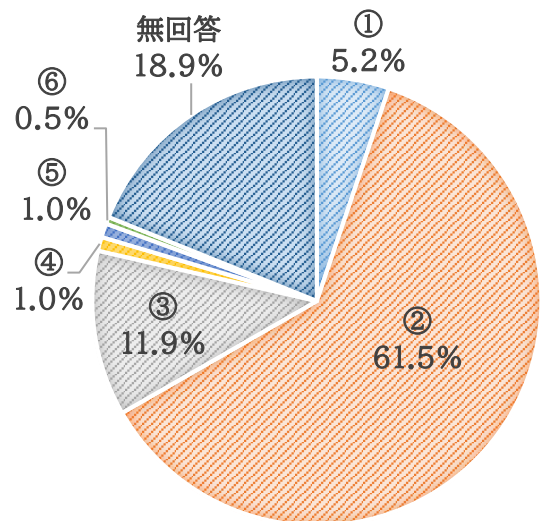
問4 ろばた館を利用する場合どの日が多いですか

項目	回答数 (比率)
① 平日	161 (39.8%)
② 土曜・日曜	137 (33.8%)
③ 祝日	6 (1.5%)
無回答	101 (24.9%)



問5 ろばた館を利用する際の主な交通手段は

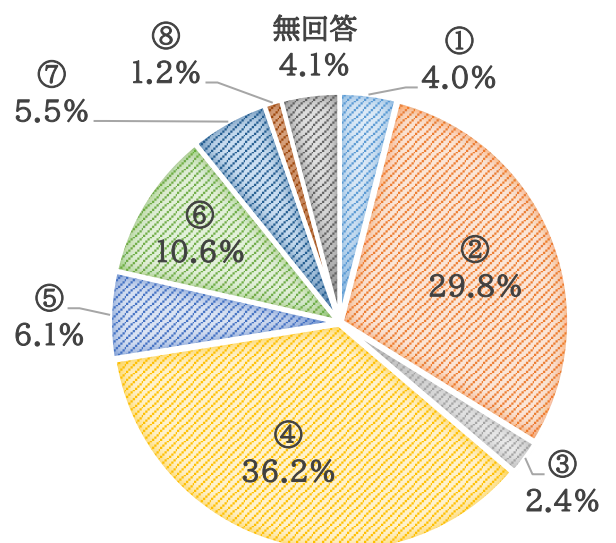
項目	回答数 (比率)
① 市営バス	21 (5.2%)
② 自身所有自家用車	248 (61.5%)
③ 友人知人の自家用車同乗	48 (11.9%)
④ 徒歩	4 (1.0%)
⑤ バイク・自転車・電動セニアカー	4 (1.0%)
⑥ その他	2 (0.5%)
無回答	76 (18.9%)



問6 あなたにとってろばた館はどのような施設ですか

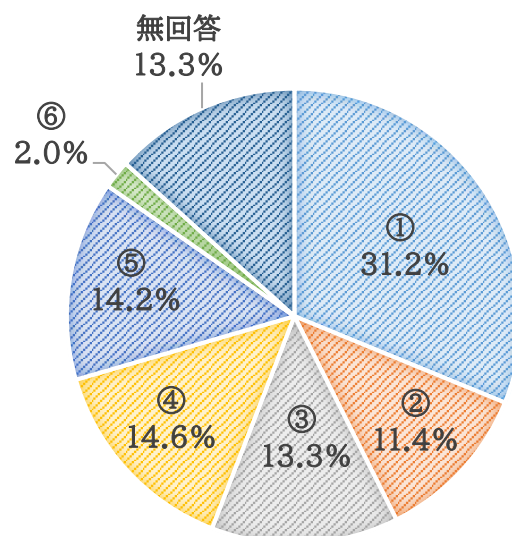
(複数回答可)

項目	回答数 (比率)
① 避難所	26 (4.0%)
② 地域の憩い、集いの場	195 (29.8%)
③ 都市と農村の交流の場	16 (2.4%)
④ 温浴施設	237 (36.2%)
⑤ 健康福祉の場	40 (6.1%)
⑥ 会議やイベントの場	69 (10.6%)
⑦ よくわからない	36 (5.5%)
⑧ その他	8 (1.2%)
無回答	27 (4.1%)



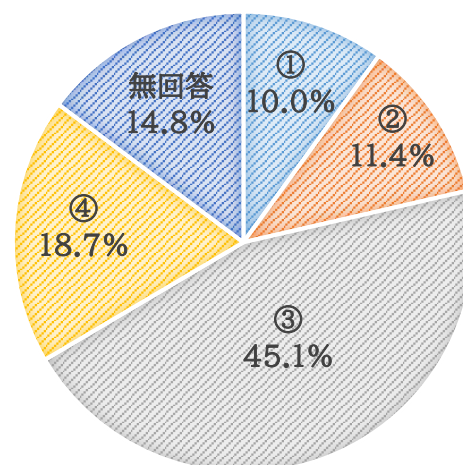
問7 ろばた館を利用する主な理由は（複数回答可）

項目	回答数（比率）
① 気軽に利用できるから	218 (31.2%)
② 大広間や会議など施設がいいから	80 (11.4%)
③ 近いから	93 (13.3%)
④ 料金が安いから	102 (14.6%)
⑤ 温浴の泉質がいいから	99 (14.2%)
⑥ その他	14 (2.0%)
無回答	93 (13.3%)



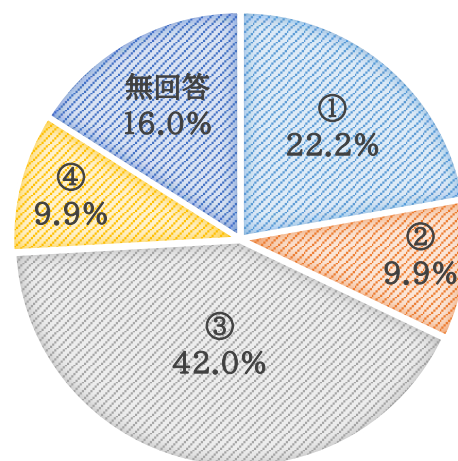
問8 ろばた館の温浴機能について

項目	回答数（比率）
① 温浴機能はなくてもいい	41 (10.0%)
② 料金が上がるならなくてもいい	47 (11.4%)
③ 多少の値上げがあっても温浴機能は必要	186 (45.1%)
④ 絶対に必要	77 (18.7%)
無回答	61 (14.8%)



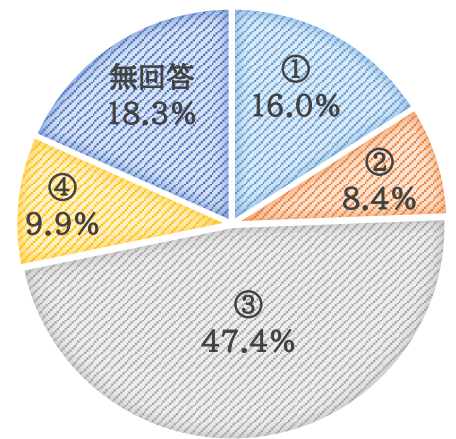
問9 ろばた館の食堂について

項目	回答数（比率）
① 食堂はなくてもいい	90 (22.2%)
② 料金が上がるならなくてもいい	40 (9.9%)
③ 多少の値上げがあっても食堂は必要	170 (42.0%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	65 (16.0%)



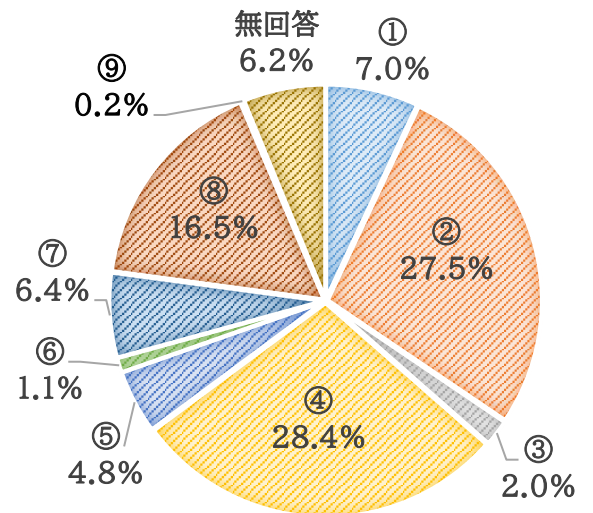
問 10 ろばた館の貸館機能について

項目	回答数 (比率)
① 貸館機能はなくてもいい	65 (16.0%)
② 料金が上がるならなくてもいい	34 (8.4%)
③ 多少の値上げがあっても貸館機能は必要	192 (47.4%)
④ 絶対に必要	40 (9.9%)
無回答	74 (18.3%)



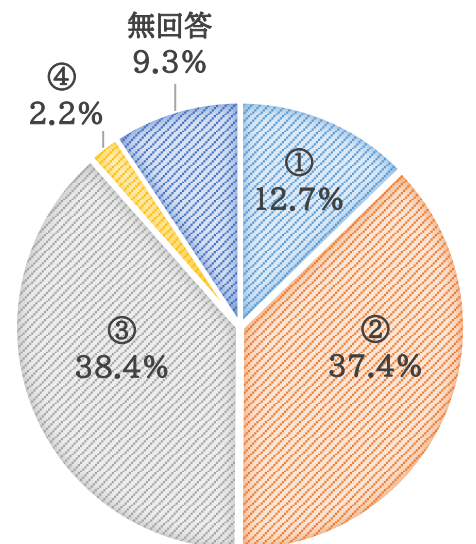
問 11 ろばた館が廃止となった場合いちばん困ることは

項目	回答数 (比率)
① 避難場所に困る	38 (7.0%)
② 地域の憩い、集いの場に困る	150 (27.5%)
③ 都市と農村の交流の場に困る	11 (2.0%)
④ 入浴や温泉を楽しむ場に困る	155 (28.4%)
⑤ 健康福祉の場に困る	26 (4.8%)
⑥ 食事場所に困る	6 (1.1%)
⑦ 会議やイベントの場に困る	35 (6.4%)
⑧ 特に困ることはない	90 (16.5%)
⑨ その他	1 (0.2%)
無回答	34 (6.2%)



問 12 ろばた館の今後についてどう思いますか

項目	回答数 (比率)
① 公費が多く投入されている状況なので廃止する	52 (12.7%)
② 施設の機能を整理・検討し、必要な機能だけで存続する	153 (37.4%)
③ 料金の値上げや地域により運営の負担が増えることになっても、行政・地区住民が一体となって継続的に存続の方法を探る	157 (38.4%)
④ その他	9 (2.2%)
無回答	38 (9.3%)



アンケート結果では、ろばた館の存続を求める回答が 75.8% (問 12 の項目②、③) ありました。また温浴、食堂、貸館の各々の機能もそれぞれ半数を超える方が必要と回答 (問 8～問 10 の項目③、④) しています。この結果を踏まえ、当協議会から市に意見書を提出していきます。



たくさんのご意見の中から一部をご紹介します！

アンケート自由記載欄

- 名立区南部方面にとっては大事に思う心のよりどころという面があり仮に無くなった時を想像したらますます元気がなくなる気がする。
- 区外の方も多く利用されており、皆さん楽しく時を過ごされております。損得(赤字黒字)も必要ですが、今の時代安心安全な安らぎの場所も必要ではないでしょうか？是非存続できるようよろしくご検討をお願いします。
- 日帰り温浴施設や交流施設等、同じ様な施設の増加や人口減少で利用する人の減少、開設した当時のことを思うと廃止するのは残念ですが、建物の存続は負担が多く難しいと思う。
- チケットのような形で各戸に購入してもらえば、老人、成人、子供と分けて各戸一冊以上。
- 利用したくなるようなイベント等を考えてほしい。子供達が楽しめるような、老人が楽しめるような、広い空間を生かして。お盆帰省される方に素泊まりでも出来ると…思います。
- 利用者が少なくなったということは、必要性が減少したことにつながる。無いより有った方がよいが公費の投入が多額で経営が困難であれば廃止も致し方ない。
- 利用料金を上げてもいいと思う。
- ろばた館へは時々行きます。イベント、友達との集まり等でもいつも感じるのは名立の人の少ないこと。ろばた館がなくなれば困ると言ってもなぜ地元の人が利用しないのか。上越や糸魚川の方が毎週「こんな良いところはない」と言って一時間も車で来ている方もいます。地元の人がろばた館を残してほしいならもっと考えてほしいと思います。80歳
- 温浴効果有り。この施設、下名立地区
- アンケートの質問と回答、添付資料だけを見ると施設は不要と判断されるかと思います。それは、問合せが閉館する前提でのQ&Aだからではないでしょうか。今更言うまでも無いことですが、肝心なことは『存在の意味と想い』ではないでしょうか。同施設は、近隣の方々や建設当時の名立役場に関わった方々が、現状と将来性を考慮し相当な時間をかけて検討した結果、最適な答えとして建設した施設です。利用者数が少ない事、公費投入されている事、建設以前から承知していた事かと思います。地域の公民館やコミュニティセンターなどと一緒で、必要な公費として考えて頂きたい。施設管理費が多額になることはどうにもならない事ですが、業績改善に向けての取組にはまだ不足があると思います。イベント開催においても参加人数が少なく賑わいに欠けます。解決策としては、これといったカンフル剤はありませんが、今まで以上に地域住民の協力や町内会長の協力を依頼して地味に協力者を増やして行く事が必要と思います。そして、年間計画をたて毎月イベントを実行していくこと(集客・売上確保)草刈など、環境整備計画をたてボランティアを募る事など(ファンを増やす)多少経費が必要になりますが、地域に依存する事が大切と思います。それには、総合事務所職員の積極的協力が必要不可欠と思います。現状では、一部職員(担当者・地元職員)の方が一生懸命に対応して頂いていますがもっと沢山の方(10~15名)に協力頂き地域の活性化、地域おこしに取組んで頂きたい。そして、何よりも“同施設をこうしたい”と強く想い積極的に実行していく事が必要です。
- なくなったらこまると思ふ。

アンケートの集計結果は以上となります。ご協力ありがとうございました！





今年度地域活動支援事業に採択した事業を紹介します！

名五美ちゃんde名立区を元気に！事業～みんなが乗っているバスでPR～



私たち宝田小学校PTAは、平成24年に宝田小児童が考えた「名五美ちゃん」を活用し、これまでもバスのラッピングやバス停標識のデザイン化、バス待合所の装飾などを行い、名立区を盛り上げてきました。

近年は新型コロナウイルスの蔓延により活動を縮小してきましたが、この度、名立区の市営バス（通称青バス）が令和3年3月から新しくなり、車体が無地に戻ったことと、今年度で宝田小学校が20周年を迎えることから、地域活動支援事業を活用して、児童が書いたイラストによるバスラッピングを行いました。

名立区の春夏秋冬と山海に関連した、子どもたちのアイデア溢れるイラストは、とてもカラフルで、バスが通り過ぎるわずかな時間でも目に付く作品となりました。

バスは他の学校への貸し出し等で名立区外を走ることもあります。名五美ちゃんや子どもたちのイラストが市内を走ることで、私たち名立区の元気に繋がり、溢れる笑顔にならばいいでしょう☆

（宝田小学校PTA 会長 宇田真人）



名立の歴史を紹介するマップを作成し発信する事業



名立大町の川端から新町の間は、明治時代に2回に渡る大火で当時の街並みの面影はありませんが、旧北国街道（通称・加賀街道）は昔のまま残っています。参勤交代における加賀の殿様や、日本最初の実測地図を作成した伊能忠敬、觀光ブームをもたらした十返舎一九、明治天皇北陸巡幸における明治維新のメンバーなど、歴史的に名の知られた面々の宿泊や、名立が宮大工の町となる基礎を築いた大工の活躍等、時代の栄枯盛衰を見つめ続けてきた街道を通じ、名立の歴史文化を紹介するマップを作成しました。題して『「名立今昔」地下道抜けるとタイムスリップ』です。まちの魅力の再発見と情報発信により、地元をはじめ多くの皆さんから地域に関心と愛着を持ってもらうことを期待しています。

（ふるさと名立のくらしと文化伝統を語り継ぐ会

橋本 克彦）



編集後記

昨年1月6日夜から降り出した雪は4日間も降り止まず、毎朝1メートル以上降り続いた。南部に生まれ雪処理には慣れているつもりでしたが、さすがに困り果てました。区内の全ての方が感じたことでしょうか、あのような降雪はもはや災害レベルと言えるでしょう。四季ごとの災害対策を考えることが大切になってきていることを痛感させられた豪雪であったと思います。さて、今年はどうなるのか小雪であることを願うばかりです。

（編集委員 石井 浩順）

